

令和3年7月15日



大型クラゲ情報(令和3年度第1号)

概要

- ・6月下旬以降、対馬海峡において大型クラゲが確認されています。
- ・7月13日に浜田市の定置網においても大型クラゲの入網が確認されました。
- ・今後、出現範囲の拡大や大量来遊の可能性があるので警戒をお願いします。

水産研究・教育機構からの情報提供

大型クラゲ国際共同調査共同研究機関は、東シナ海およびその隣接水域等における大型クラゲモニタリング調査を行っています。

以下、調査結果の概要になります。

- ・東シナ海域で合計58個体の大型クラゲを確認(調査期間:6月14日~20日)
- ・壱岐~対馬間で合計50個体の大型クラゲを確認(調査期間:7月6日~7日)
- ・韓国ではエチゼンクラゲ注意段階特報を済州および全南海域に発令(6月23日付け)

※詳細は水産研究・教育機構 HP (http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Kurage/kurage_top.html)

島根県および他機関における大型クラゲ目撃報告

島根県内では、浜田市の定置網で大型クラゲが約20個体(15~20cm)確認されています(7月13日)。

県外では、長崎県対馬市の定置網で確認(6月22日)。その後、数個体~数十個体/日の入網が続いています。サイズは傘径30~50cmの小型のものが多い模様です。

例年よりも出現数が多い傾向であるため、今後の動向に注意が必要です。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

【発信者】

島根県水産技術センター
海洋資源科 担当: 寺谷、沖野
TEL: 0855-23-4806 FAX: 0855-23-2079
Email: suigi@pref.shimane.lg.jp